

白須ゼミ 夏合宿 プレゼン

情報・通信業界  
ソフトバンク株式会社

12108022

石井喜八郎

September 13.2010



# 目次

1step

情報・通信業界の概要



2step

企業概要・特徴



3step

産業・企業の $\beta$ 値



4step

株主資本コストの推計

# 情報・通信業界の概要

～情報・通信業界とは？～

## □情報・通信業界とは

情報の伝達や処理・加工・提供にかかわるサービスを行う業種

## □情報業界の主要企業

NTTデータ、CSK、NRI野村総合研究所、日立ソフトウェアエンジニアリング、TIS、インテック、日本オラクル 等

# 情報・通信業界の概要

## ～通信業～

### □通信業

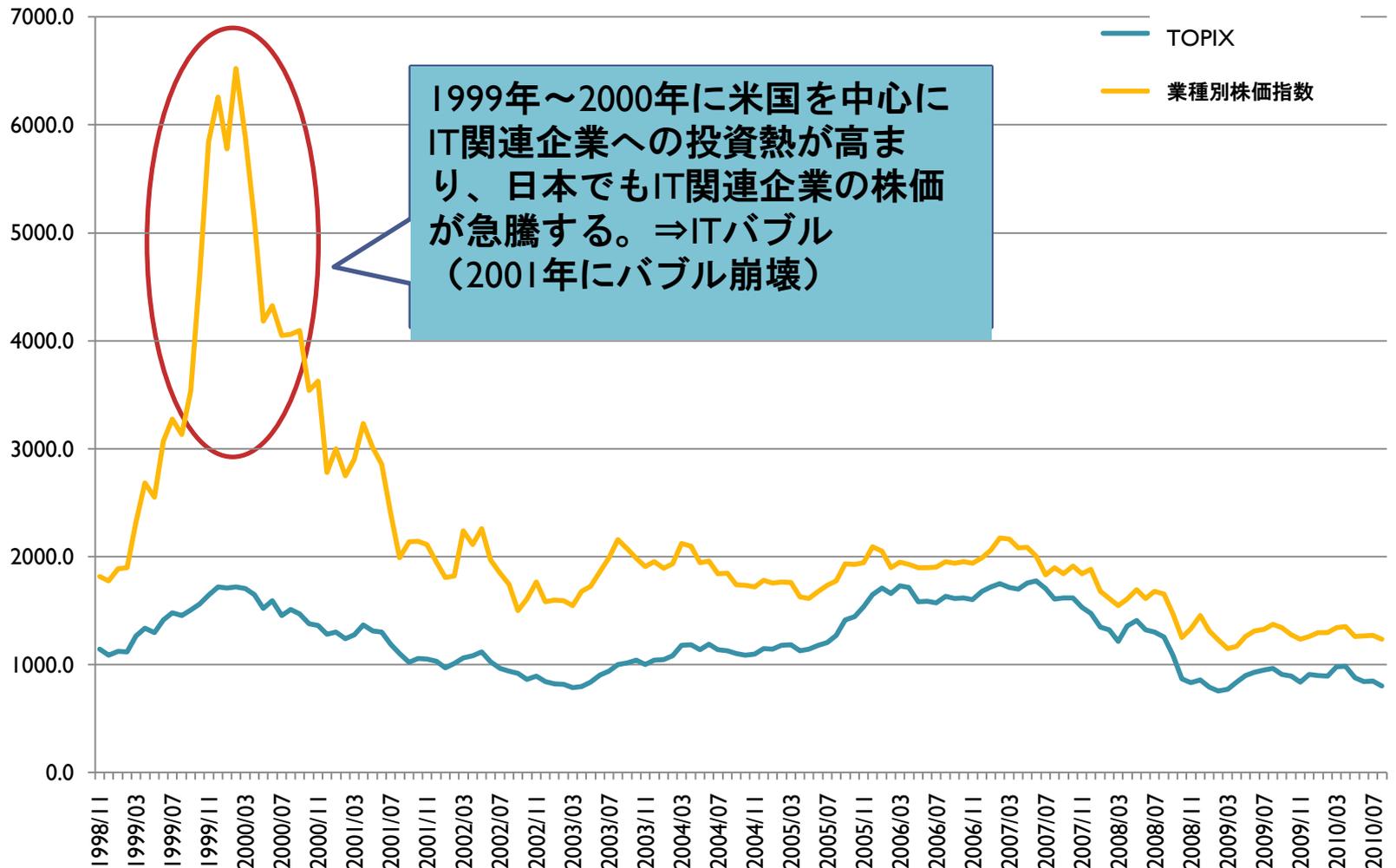
1. 固定電話
2. 携帯電話
3. 固定通信（光ファイバー、ADSL）

### □3強

1. NTT（売上高/10兆4,163億円）
2. KDDI（売上高/ 3兆4,975億円）
3. ソフトバンク（売上高/2兆6,730億円）

# 情報・通信業界の概要

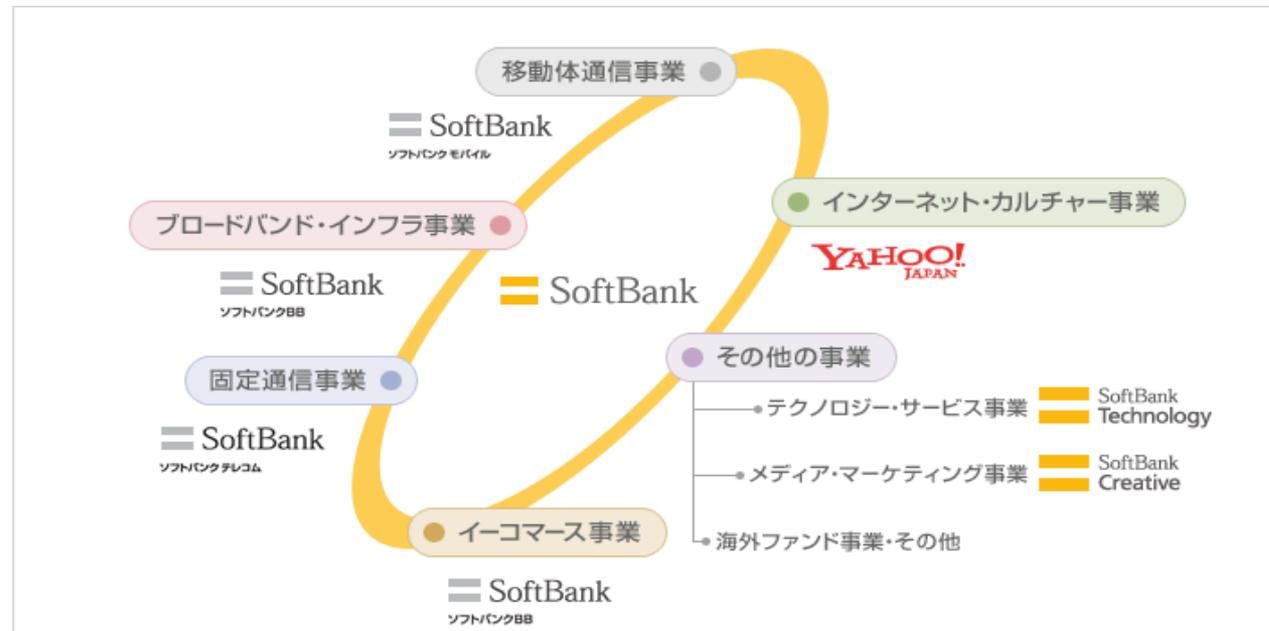
## ～業界の概況～



# 企業概要

## ～ソフトバンク株式会社～

✓「デジタル情報革命を通じて、人々が知恵と知識を共有することを推進し、企業価値の最大化を実現するとともに人類と社会に貢献する。」（経営理念）

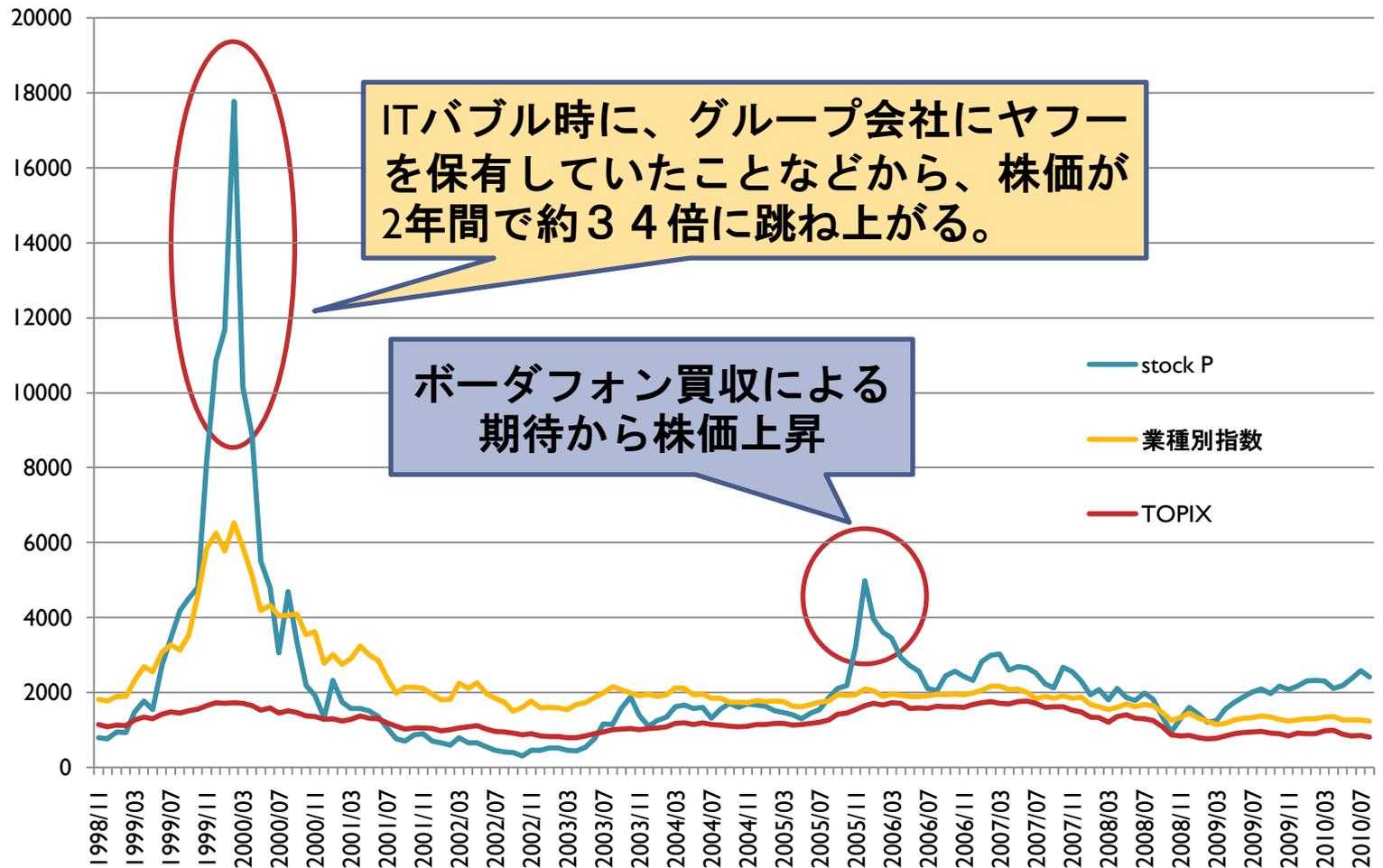


引用：ソフトバンク公式HRより



# 企業の特徴

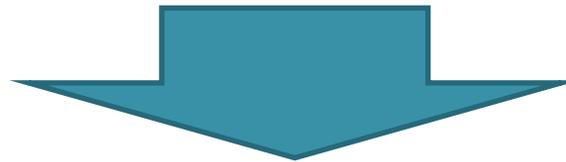
## ～ソフトバンク株式の特徴～



# 産業・企業のβ値

～情報・通信業界～

- $R_s(\text{業界のリターン}) - R_f(\text{無リスク金利})$   
 $= \alpha + \beta (R_m(\text{TOPIXのリターン}) - R_f)$
- $Y = 0.001956 + 1.026822 X$   
(0.372801) (11.56528) \*\*有意水準5%で有意
- 自由度調整済  $R^2$  (決定係数) = 0.48672



- 産業のβは1.026822とTOPIXとほとんど同じ動きをすることがわかる。

# 産業・企業のβ値

～ソフトバンクの場合～

- $R_i - R_f = \alpha + \beta (R_m - R_f)$

$\Rightarrow Y = 0.051641 + 2.18706 X$

(3.368986857) (8.595099585) \*\*有意水準95%で有意

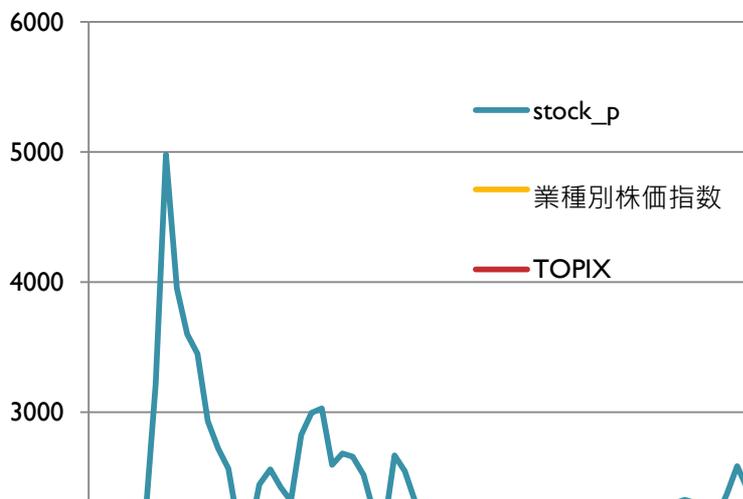
- 自由度修正済み  $R^2 = 0.326979$



- ソフトバンクのβ値は産業のβと比べても約2倍、非常にリスクのある証券

# 企業の特徴

～期間分割～2005.05



- B値

$$Y=0.033454$$

$$+1.424146 X$$

- t値

$$(1.892657)(5.637905)$$

リーマンショックにより、大きく値を下げても、その後市場や、同業界他社よりも順調に株価を回復させている。  
⇒iPhoneの登場、通信インフラ

# 株主資本コスト推計

- 株主資本コスト  $R$   
$$= R_f + \beta \times \text{リスクプレミアム} R_p$$
- $R = 0.013304276 + 2.18706 (0.02)$
- 株主資本コスト = 0.055729  
= 5.6%

**ご静聴ありがとうございました。**

